

# 新潟県職員デジタル人材育成計画

令和5年3月

新潟県知事政策局 ICT推進課

## 目次

1	計画策定の背景・趣旨	1
2	目指す職員像	2
3	職員に求められる能力・マインド	3
(1)	一般職員（階層別）	3
(2)	D X推進マネジャー・D X推進員	3
(3)	デジタル専門人材（I C T推進課等職員）	4
4	取組内容	6
(1)	職員研修	6
(2)	所属の課題解決を通じた人材育成	7
(3)	資格取得の奨励	7
(4)	人材の確保	7
(5)	その他	7
参考	スキルマップ	9

## 1 計画策定の背景・趣旨

今般の新型コロナウイルス感染症への対応等において、国・地方公共団体、さらには民間や社会におけるデジタル化の遅れや人材不足、行政機関内部での不十分なシステム連携に起因する非効率などの実態が明らかとなった。

また、ICT分野での加速度的な技術進歩や、GAFAM等による産業構造の変革も背景に、我が国においても「デジタル・トランスフォーメーション（DX）」の必要性が強く認識されることとなった。

一方、本県においては、人口減少とそれに起因する少子高齢化や活力・競争力の低下といった課題に直面しており、より一層、デジタル技術・データを最大限活用し、暮らし・産業・行政の変革につなげていくことが重要となっている。そうした状況の中、令和3年7月に知事を本部長とするデジタル改革実行本部を立ち上げるとともに、「デジタル改革の実行方針」を策定したところである。

本県の最上位の行政計画である総合計画においても、デジタル改革を重点的、集中的かつ部局横断的に取り組むべき重要課題として位置付け推進することとしている。

デジタル改革を推進するためには、その担い手となる人材の育成・確保が重要となることから、本県におけるデジタル人材の育成を計画的・効果的に推進することを目的として、目指す職員像や職員に求められる能力を設定し、デジタル人材を育成するために必要となる取組を整理した「新潟県職員デジタル人材育成計画」を策定する。

なお、本計画については、新潟県職員人材育成基本方針（平成31年3月改定）を踏まえ、デジタル人材の育成について全庁的な計画として取りまとめるとともに、専門分野ごとの課題に対応した部局別人材育成プログラムとしての位置付けも有するものであり、情報通信技術を取り巻く環境変化やデジタル改革の進捗状況等を踏まえ適宜検討を行い、定期的に見直しを行う。

## 2 目指す職員像

総合計画では、行政におけるDXとして、「デジタル技術の活用により、仕事のやり方を抜本的に見直して大幅に業務効率化しつつ、求められる業務に注力することで質の高い県民サービスを提供できる組織とする」としている。これに向けて、目指す職員像を次のとおりとする。

### 住民や企業等の視点に立ったサービスを提供することができる職員

社会の変化のスピードは速く、住民や企業等のニーズが多様化・複雑化する中、住民や企業等の視点に立ちサービスを提供・改善ができる職員が求められる。

### 変革に対応し続けることができる職員

人口減少や少子高齢化、都市一極集中に伴う労働力不足、働き方改革、グローバル化、環境・エネルギー問題、デジタル技術革新等、我々をとりまく環境は大きく変化しており、日ごろから変革に対応できるマインドを持つ職員が求められる。

### デジタル技術やデータを活用し、スピード感を持って業務効率化や価値創造に取り組むことができる職員

全職員がデジタル技術の基礎知識を有し、さらにデジタル化を推進する職員においては、デジタル技術やデータを活用して業務効率化や新たな価値の創造に取り組むことができる職員が求められる。

### 3 職員に求められる能力・マインド

#### (1) 一般職員（階層別）

今後は、全ての職員をデジタル人材として育成する必要がある。育成に当たっては、職務や職責により必要となる能力が異なることから、階層に応じた職員の求められる役割や能力を特定し、効果的に人材を育成することとする。

階層	役割	特に求められる能力
所属長・所属長補佐	D X推進のリーダーとして、県民サービスの向上と業務改革に向け、所属業務のデジタル化（既存システム更改、SaaS 利用）にとどまらず、目指すべき県業務全体の変革を実現するようリーダーシップを発揮する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マネジメント能力</li> <li>・リーダーシップ</li> <li>・変革マインド</li> </ul>
係長	デジタル技術を活用した課題の解決に向けて、プロジェクトをマネジメントする。係員とともに企画・改善策を調整の上、I C T推進課等と連携し、デジタル技術の効果的な活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップ</li> <li>・プロジェクトマネジメント能力</li> <li>・政策形成（課題解決）能力</li> </ul>
主任	デジタル技術やデータを活用し、住民・企業等のニーズ把握やサービス提供・改善をするとともに、業務効率化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策形成（課題解決）能力</li> <li>・デジタル技術活用能力</li> <li>・データ利活用能力</li> </ul>
主事・技師	デジタル技術や情報セキュリティに関する基礎知識を習得し、デジタル技術を生かして業務を遂行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的なデジタルリテラシー</li> <li>・業務遂行能力</li> </ul>

#### (2) D X推進マネジャー・D X推進員

デジタル化を推進するため、各所属にD X推進マネジャー及びD X推進員を配置する（新潟県デジタル改革実行本部設置要綱第9条）。D X推進マネジャーは所属長補佐とし、D X推進員を所属長に推薦する。所属長は推薦を受けてD X推進員を指名する。

D X推進マネジャーは、所属の課題の抽出や設定、所属におけるデジタル化の推進の管理を行う。D X推進員は、デジタル技術を活用して自身の業務や所属の業務の課題解決に取り組む。D X推進マネジャー及びD X推進員の役割や

求められる能力を次のとおりとする。

区分	役割	特に求められる能力
DX推進マネジャー	所属におけるデジタル化の推進の旗振り、進捗管理、DX推進員のサポート	・プロジェクトマネジメント能力
DX推進員	所属におけるデジタル技術を活用した課題の解決	・デジタルリテラシー ・デジタル技術活用能力 ・課題解決能力

### (3) デジタル専門人材（ICT推進課等職員）

ICT推進課等職員を、デジタル人材育成を推進する専門人材とし、以下のとおり国が示すデジタル推進人材の能力を身に付けていく。

<国が示すデジタル推進人材>

人材	人材の定義	県における役割
ビジネス アーキテクト	DXの取組みにおいて、ビジネスや業務の変革を通じて実現したいこと（＝目的）を設定したうえで、関係者をコーディネートし関係者間の協働関係の構築をリードしながら、目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を通じて、目的を実現する人材	業務全体を見渡して、活用できるデジタルツールや導入部分を見分けて、業務効率化を推進する。
デザイナー	ビジネスの視点、顧客・ユーザーの視点等を総合的にとらえ、製品・サービスの方針や開発のプロセスを策定し、それらに沿った製品・サービスのありかたのデザインを担う人材	システム構築において、ユーザー目線で必要となる機能やユーザーインターフェースを提案する。
データ サイエンティスト	DXの推進において、データを活用した業務変革や新規ビジネスの実現に向けて、データを収集・解析する仕組みの設計・実装・運用を担う人材	課題に対する必要なデータの精査と分析を行い、政策立案に生かす。

人材	人材の定義	県における役割
ソフトウェアエンジニア	DX の推進において、デジタル技術を活用した製品・サービスを提供するためのシステムやソフトウェアの設計・実装・運用を担う人材	クラウドを含めたネットワーク基盤やシステムの調達、設計を行い、安定的に運用する。
サイバーセキュリティ	業務プロセスを支えるデジタル環境におけるサイバーセキュリティリスクの影響を抑制する対策を担う人材	庁内ネットワーク・システムに必要なセキュリティ対策を講じ、サイバー攻撃を未然に防ぐ。また、サイバー攻撃が発生した場合に、必要な対策を迅速に行う。

※「デジタルスキル標準 ver.1.0（独立行政法人情報処理推進機構・経済産業省）」を参考に作成

## 4 取組内容

### (1) 職員研修

#### ア 一般職員

行政のデジタル化を推進する上で必要となる能力を身に付けるため、階層に応じた研修を実施する。

階層	主な研修内容
所属長・所属長補佐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マネジメント</li> <li>・ リーダーシップ</li> <li>・ 変革マインド醸成</li> </ul>
係長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーシップ</li> <li>・ プロジェクトマネジメント</li> </ul>
主任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政策形成能力向上（デザイン思考を含む。）</li> <li>・ デジタル技術活用</li> <li>・ B P R 基礎</li> <li>・ データ利活用</li> </ul>
主事・技師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I C T 基礎</li> <li>・ D X 基礎</li> <li>・ 情報セキュリティ基礎</li> </ul>

#### イ DX推進マネジャー・DX推進員

各所属のデジタル化を推進するDX推進マネジャー及びDX推進員に対しては、所属の課題の解決に必要な専門的な研修を実施し、デジタル改革意欲の高い人材の発掘・育成を行う。

区分	主な研修内容
DX推進マネジャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクトマネジメント</li> </ul>
DX推進員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B P R</li> <li>・ A I</li> <li>・ R P A</li> <li>・ ローコード・ノーコード</li> <li>・ ネットワーク</li> <li>・ データ利活用</li> <li>・ デザイン思考 等</li> </ul>

#### ウ デジタル専門人材（ICT推進課等職員）

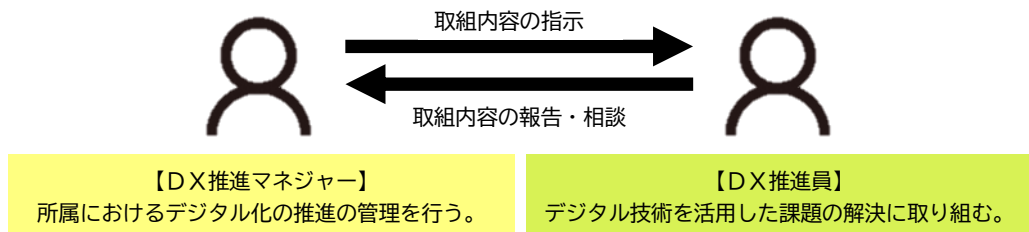
ICT推進課に配属された職員については、専門的な研修（システムの調達・委託や情報セキュリティ監査、ネットワーク等）の受講によりスキルを高めるほか、外部人材として採用したデジタル改革監や参与による個々の業

務を通じたOJTにより専門性を高める。ICT推進課職員は、配属初年度にITパスポート試験に相当する知識やスキルの水準となるよう、研修やOJTを行う。

キャリア採用（一般行政（ICT））の職員については、デジタル技術に加え、行政職員としての政策立案能力等を身に付けることで、デジタル技術を活用した政策立案・システム企画等を牽引する役割を担うとともに、専門的な研修等を通じて、最新の知識の習得や技術力の維持・向上を図る。

## (2) 所属の課題解決を通じた人材育成

DX推進員の育成の一環として、実際の業務における課題の解決を行いながら、デジタル技術を活用した課題解決能力を身に付ける取組を行う。取組に当たっては、所属のデジタル化を推進するDX推進マネジャー及びDX推進員が中心となって行う。



## (3) 資格取得の奨励

自己の能力開発の手段として、次の情報処理技術者試験の資格取得を奨励する。

- ・ ITパスポート試験
- ・ 基本情報技術者試験
- ・ 応用情報技術者試験

## (4) 人材の確保

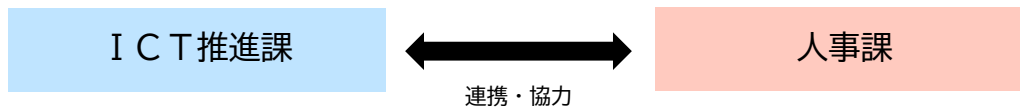
必要に応じて、民間企業をはじめとした外部から、特に即戦力となる知見を有する人材を外部人材として登用する。登用に当たっては、任期付職員、非常勤特別職、キャリア採用等、様々な採用手法を活用する。

職員においては、外部人材と一緒に業務を行うことで得られる知見等を蓄積し、その知見を活用することとする。

## (5) その他

デジタル人材の育成に当たっては、民間企業等への職員派遣、大学との連携等についても活用する。

本計画を所管する知事政策局 I C T 推進課と、新潟県職員人材育成基本方針を所管する総務部人事課が連携・協力しながら、デジタル人材の育成に関する取組を行う。



## 【参考】スキルマップ

スキル	概要	一般職員				推進人材		専門人材
		所属長・所属長補佐	副参事・係長・政策企画員	主査・主任	主事・技師	D X推進マネジャー	D X推進員	I C T推進課職員等
マネジメント	設定した目標を達成するために、組織や業務を管理・運営することができる。	●						
リーダーシップ	サービスの向上と業務変革に向け、リーダーシップの重要性を理解し、リーダーシップを発揮することができる。	●	●					
プロジェクトマネジメント	プロジェクト計画の策定や進捗管理などプロジェクト管理の考え方や具体的な手法について理解している。	●	●			●		●
デザイン思考	利用者の本質的なニーズを見つけ、課題を再定義する考え方を理解している。	●	●	●		●	●	●
政策形成	課題に対する解決策を考え、政策として立案することができる。	●	●	●		●	●	●
B P R基礎	環境やルールなどに潜在するリスクの洗い出しやヒューマンエラーが起りにくい業務プロセスの構築等、実効性のある業務プロセスの見直しの考え方を理解している。	●	●	●	●	●	●	●
データ利活用基礎	課題解決のために必要なデータ利活用の意義や必要性を理解するとともに、保有しているデータを有効活用し、行政サービスの向上や政策の立案に役立てるための知識を有している。	●	●	●	●	●	●	●
I C T基礎	I C Tの基礎知識を有している。	●	●	●	●	●	●	●
D X基礎	D Xが必要とされる社会的背景や考え方を理解し、D Xの基礎知識を有している。	●	●	●	●	●	●	●
情報セキュリティ	情報セキュリティ対策の意味と内容について理解している。	●	●	●	●	●	●	●
B P R実践	業務本来の目的に向かって既存の組織や制度を抜本的に見直し、業務フロー等を再構築することができる。					●	●	●
A I	A Iの知識を有していて、業務に活用することができる。						●	●
R P A	R P Aの知識を有していて、業務に活用することができる。						●	●
ローコード・ノーコード	ローコード・ノーコードの知識を有していて、業務に活用することができる。						●	●
ネットワーク	ネットワークの構成要素、LANの概要、TCP/IPの役割等、ネットワークの知識を有している。						●	●